



「縄文と俳句」一句鑑賞原稿募集のお知らせ…………… 4

「澤」創刊十六周年記念吟行俳句大会のお知らせ…………… 6

澤通信句会のお知らせ…………… 8

小澤 實 雨粒 十五句…………… 12

高橋睦郎 季語練習帖 第七十七回…………… 14

潺潺集 小澤 實選…………… 16

褒美 左官屋宇兵衛 掃海艇 余村光世

試食魔 遊菜 雪しろ 篠崎弥生

ストッパー 野口桐花 小窓 宮崎玲子

春若し 川上弘美 朴念仁 結城あき

形見 水谷り得子 夫在りてこそ 長谷川照子

定例句会の秀句 村戸弥生…………… 34

通信句会の秀句 佐藤晃市…………… 36

俳句を豊かにするもの

俳句のおじさん 藤田恵美…………… 38

俳句と私 丸田紫苑…………… 39

潺潺集巻頭作家インタビュー 北沢豪太…………… 40

澤集巻頭作家インタビュー ころん…………… 41

同人代表句 桐生真地／新澤 岳…………… 42

同人一句鑑賞 杉野正恵／高橋和志…………… 43

澤衍…………… 44

澤四十句 小澤 實選…………… 46

選後独言 描写のちから 小澤 實…………… 48

おしもん 望月とし江 舌の先 北沢豪太  
すべて食ぶ 葛西省子 火打石 山田渥子  
眉毛 石原 学 遍路宿 塙 幸子  
鯖焼定食 栗生

澤俳句鑑賞192

長嶋 有…………… 22 鈴木尚子…………… 24

窓

俳書を読む

長嶋 有『春のお辞儀』／杉山久子『泉』／

渡辺純枝『凜』 冬魚…………… 26

詩文学芸書を読む

上野千鶴子『おひとりさまの最期』 村上佳乃…………… 28

総合誌俳句鑑賞

「俳句」三月号／「俳壇」三月号 野崎海芋…………… 30

俳句結社誌を読む

「紫雁」第十三号 馬場尚美…………… 32

澤集 小澤 實選…………… 50

町田無鹿／おきのきらら／森山くるみ／石田秀子／馬場尚美／櫟 博子／山本肯三／松野篤子／半田羽吟／服部鶴美  
／鍋山紀子／竹村翠苑／森美代子

新入会員／4月号発送報告…………… 81

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ／  
第十五回同人総会と名簿発行について…………… 82

澤俳句叢書一覧…………… 83

消息／正誤表…………… 84

雑誌「澤」購読のご案内／

第187回定例会月ご案内…………… 85

第185回定例会月ご案内 小澤 實選…………… 86

第179回通信句会作品 小澤 實選…………… 88

購読料更新のお知らせ／澤基金募集のお願い…………… 90

投句のご案内／澤基金応募者芳名…………… 91

澤句会・カルチャー一覧…………… 92

広告…………… 93 後記…………… 98

表紙デザイン・山口信博＋撮影・鈴木静華

澤

平成28年5月1日発行

澤 俳句会

頒価 1,200円

注口土器である。時代は縄文晩期。青森県是川遺跡出土のものに似ているので、そのあたりから出たものであろうか。

小林達雄先生は「特別な液体を入れたもの、特別な液体といたら酒でしょう」とおっしゃる。縄文時代、まだ米はないので、野生の果実を醸した酒を飲んでいたはずだ。ほくも冷酒に使ってみたいところだが、樹脂の共色直しの部分がかなり大きく、内に和紙を貼って固定している粗い修理のため、実行できない。

空飛ぶ円盤に似たかたち、童子の陰茎を模した注口、刻まれている模様もまったく同一のものは一点もないという。底は平らでなく、触るとゆらゆらする。机の上でゆらゆらさせていると、酔ったような気分になる。

小澤 實